

ふるさと大館へ

大館ふるさと会からのたより⑬

幹事
武藤 正 さん

(東京都東村山市在住)



ふるさと会も二歳になりました。当初、会の創立通知を大館では市広報に掲載し、東京では大館五高校の在京同窓生を中心に連絡をしました。その結果、第一回総会の際はまあまあ的人数が集まったのですが、第二回総会では参加者がちよつと少なく、問題を残しました。大館に縁のあるかたがたをいかに集められるかが今後の課題です。どうぞ友人や知人にふるさと会があることをお知らせしてあげてください。

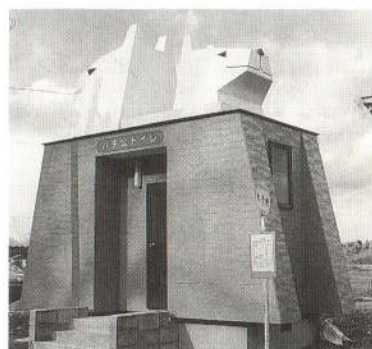
総会はまだ二回開催したに過ぎませんが、その都度お集まりの皆さんの関心は、市の近況はもちろんのことですが、それ以上に大館特有の物産にあつたように思われます。きりたんぼ、ガッコ、山菜、果物、酒、曲げわっぱ等工芸品の数々。五感に訴える地場産業の品々です。

私自身、知人にきりたんぼが食べたい、曲げわっぱを作っているところが見たい、生きている秋田犬が見たいなどと言われるのですが、その都度、大館市役所に問い合わせして教えている状態です。できればこれら郷土の誇れる産品を一堂に集めた産業会館があれば、いつも思います。

道路整備も進み、教育施設、ドーム、空港、工業団地等が完備されつつあると聞きますが、ふるさと会のかたのみならず、大館を知らない多くの一般のかたがたを大館に呼び込み、大館を知っていただくことこそが、大館を発展させる近道と考えます。宣伝広告も大切ですが、地場産業の育成が目下の急務なのではないでしょうか。製造業が大事にされ、伸長して初めて、「ふるさと大館」の発展があるのだと信じています。

我々も努力し、微力ながら外から応援いたします。地元の皆さんも、自信を持って良いものを作ってください。山形、福島産の比内鶏はマッピラですから!!

これはなに?



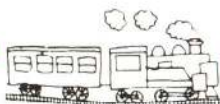
ハチ公トイレ

「忠犬ハチ公」の生家、大子内の斎藤七郎右衛門さん宅。その向かいの市有地に現れたのがこの建造物。屋根には秋田犬の親子をかたどったモニュメントが飾られています。

実はこれ、市が設置したトイレなんです。ハチ公生誕の地を訪れる観光客は少なくないのだそうですが、ここは民家。観光施設ではないため、トイレ等は好意により斎藤さん宅のものが使用されていた、というわけです。

新しいトイレが設置された今後は、より気軽にここを訪れることができるようになるのかも知れませんね。

六郷発 → 大館着



前略

大館市民になりました

60

★今回は、有浦六丁目の北林憲男さんご一家です。

Q・ご家族は何人ですか?

妻の祐子、長女の千佳(二歳)、次女の万実(二カ月)と私の四人です。

Q・どちらからおいでになりましたか?

今年二月、転勤で仙北郡六郷町から引越して来ました。

Q・大館の印象はいかがですか?

実は私、隣の田代町出身で、大館は十二年ぶりということになるんです。市の中心部はその当時とあまり変わっていないようでしたが、バイパスの建設をはじめとした郊外の開発が進んでいる様子には、驚かされました。また、桂城公園や長木川の河川公園など、気軽に散策できる場所が近くにあるのはうれしいですね。降雪量は六郷町の方がはるかに多いのですが、その代わり、寒さという点ではこちらが一枚上手という感じがします。

Q・食べ物や言葉はいかがですか?

妻が言うには、季節と関係なくいつでもきりたんぼが店頭

に並んでいるのが印象的なのだそう。また、大館のかたたちは比較的なまりの少ない話し方をするので、言葉に対する違和感はないとのこと。私も、以前に比べて土地のなまりで話すかたが少なくなつたように感じています。

Q・大館に何を望みますか?

首都圏へ進学・就職していくかたたちがUターンしたくなるような、職場・生活環境・レジャー施設等の魅力を整えて欲しいです。

